

学習計画表

学校名	②長野県・下諏訪町立下諏訪社中学校								
テーマ	Yashiro Space Project 2005								
授業形式	・□必修教科・□選択教科・□合科学習・■総合学習・□その他() / □SPP・□SSH								
対象	・□小学校・■中学校・□高校・□その他() 1～3年・□教育委員会(教員)								
期間	5月13日～12月16日								
回数 (総時間)	27回(36時間40分) *見学・絆祭は除く								
人数	45名								
学習目標	"YashiroSpaceProject"3年目。クラス・学年の枠をはずした集団のなかで、自己の生き方を考えられる力を養う。								
回	実施日	時間	形式	授業のねらい	授業内容	生徒の学習活動	指導上のポイント	生徒の反応	教員のコメント
1	5月13日	50分	授業	宇宙への興味・関心を高める。	学習したいことをはっきりさせよう * 担当教員による授業	自己紹介、講座を選んだ理由の発表、これからこの講座で行っていききたい事を書き出す。			
2	5月27日	50分	授業	宇宙への興味・関心を高める。	的川先生を知ろう * 担当教員による授業				
3	6月3日	50分	授業	恒星や惑星などの基本的な知識を身につける。	予備知識を増やそう * 担当教員による授業				
4	6月10日	150分	講義	恒星や惑星などの基本的な知識を身につける。	講義「宇宙といのち」 講師: 的川泰宣(JAXA) 支援: 浅野真(JAXA) 太陽系を実感しよう 太陽と地球の大きさ(直径)比べ	講義を聴いて、宇宙と生命について質疑をする。			
5	6月17日	50分	授業	私達が住む太陽系について理解を深め、宇宙の広がりを実感できるようにする。	太陽を描こう * 担当教員による授業	模造紙に太陽の円を描く。地球を1円玉としたときの太陽の大きさを調べる。	具体物で1円玉を用意する。模造紙4枚を張り合わせた用紙をグループ分用意する。円の描き方を工夫させる。		
6	6月24日	50分	授業	私達が住む太陽系について理解を深め、宇宙の広がりを実感できるようにする。	夏休みの施設見学について * 担当教員による授業	施設の内容を聞いて、施設見学の目的を決める。	インターネットから施設の情報をプリントして紹介する。		
7	7月1日	50分	授業	私達が住む太陽系について理解を深め、宇宙の広がりを実感できるようにする。	太陽系をつくろう(1) 班決め * 担当教員による授業	担当する惑星を決める。	学年が縦割りになるように、アンケートを元にグループを構成する。		
8	7月8日	200分	授業	私達が住む太陽系について理解を深め、宇宙の広がりを実感できるようにする。	太陽系をつくろう(2) 9つの班に分かれ、太陽系の模型をつくる 支援: 黒谷明美、浅野真(JAXA)	模型制作。比例式から惑星の大きさを計算する。	会場の割り当てと責任者の確認、時間配分の指示をする。		
9	7月22日	50分	授業	宇宙開発の歴史やロケットについて講義や資料説明を通して学ぶ。	施設見学での調査内容の決定 * 担当教員による授業	目的や課題を決める。			
8月4日 筑波宇宙センターを見学する。 講義「宇宙ステーションと無重力の話」 講師: 吉崎泉(JAXA) 支援: 浅野真、岸詔子(JAXA) 8月10日 宇宙科学研究本部を見学する。 講義「ブラックホールを探す」 講師: 堂谷忠靖(JAXA) 支援: 浅野真、岸詔子(JAXA)									
10	8月19日	50分	授業	宇宙開発の歴史やロケットについて講義や資料説明を通して学ぶ。	施設見学のまとめ * 担当教員による授業	学習してきた内容をまとめる。			

回	実施日	時間	形式	授業のねらい	授業内容	生徒の学習活動	指導上のポイント	生徒の反応	教員のコメント
11	8月26日	50分	授業	宇宙開発の歴史やロケットについて講義や資料説明を通して学ぶ。	施設見学のまとめ * 担当教員による授業				
12	9月2日	50分	授業	宇宙開発の歴史やロケットについて講義や資料説明を通して学ぶ。	太陽系惑星調べ * 担当教員による授業	絆祭の発表に向けて、模型を作った惑星のデータをカードにまとめる。	調査項目をあらかじめ指示する。保存場所の確認。		
13	9月9日	150分	講義	太陽系内の天体の位置関係、それぞれの惑星の特徴をつかむ。	講義「惑星ができたみちのり」 講師: 田中智 (JAXA) 支援: 浅野真 (JAXA)	講義を聴いて、太陽系の惑星について理解をする。			
14	9月16日	50分	授業	友達の発表から学習を振り返り、太陽系について改めて学ぶ。	絆祭に向けてまとめ * 担当教員による授業	発表原稿の制作			
15	9月21日	100分	授業	友達の発表から学習を振り返り、太陽系について改めて学ぶ。	絆祭に向けてまとめ * 担当教員による授業	リハーサル			
9月24・25日学校行事「絆祭」									
16	9月30日	50分	授業	友達の発表から学習を振り返り、太陽系について改めて学ぶ。	絆祭発表の反省 * 担当教員による授業	発表の反省と新たな課題を考える。			
17	10月8日	50分	授業	太陽系の外の宇宙の広がり調べ、恒星までの距離や、銀河の広がりの様子を知る。	宇宙の広がりを考えよう 支援: 浅野真 (JAXA)	資料から宇宙の広がりや星までの距離、太陽系の位置を確認する。			
18	10月14日	150分	講義	広い宇宙の中で人間が到達している限界を知り、宇宙開発の意味を考える。	講義「宇宙の構造 ・人口衛星と惑星探査機」 講師: 油井由香利 (JAXA) 支援: 浅野真 (JAXA)	銀河について講義を聴く。			
19	10月21日	50分	授業	広い宇宙の中で人間が到達している限界を知り、宇宙開発の意味を考える。	グループ調査活動 「宇宙の広がり、宇宙開発、人工衛星」 * 担当教員による授業	各テーマ毎に図書や年鑑等から資料を集め、模型作りや模造紙にまとめる。	各テーマ毎に相談役として先生があたる。事前に方向を確認打合せをする。		
20	10月28日	50分	授業	広い宇宙の中で人間が到達している限界を知り、宇宙開発の意味を考える。	グループ調査活動 「宇宙の広がり、宇宙開発、人工衛星」 * 担当教員による授業				
21	11月4日	100分	授業	広い宇宙の中で人間が到達している限界を知り、宇宙開発の意味を考える。	グループ調査活動 「宇宙の広がり、宇宙開発、人工衛星」 * 担当教員による授業				
22	11月18日	100分	授業	広い宇宙の中で人間が到達している限界を知り、宇宙開発の意味を考える。	人工衛星の軌道要素を考えよう 支援: 猿楽祐樹、浅野真 (JAXA)	人工衛星の軌道について講義を聴く。			
23	11月25日	150分	授業	銀河系や宇宙の広がり、宇宙開発について友達の発表を認め、学びなおす。	後期発表会準備 * 担当教員による授業				
24	12月1日	150分	授業	銀河系や宇宙の広がり、宇宙開発について友達の発表を認め、学びなおす。	後期発表会準備 * 担当教員による授業				

回	実施日	時間	形式	授業のねらい	授業内容	生徒の学習活動	指導上のポイント	生徒の反応	教員のコメント
25	12月2日	100分	発表	銀河系や宇宙の広がり、宇宙開発について友達の発表を認め、学びなおす。	学習発表会 講評: 浅野真 (JAXA)				
26	12月9日	50分	授業		まとめ * 担当教員による授業	年間を通して学んだことを記録する。			
27	12月16日	50分	授業		来年度に向けて * 担当教員による授業				